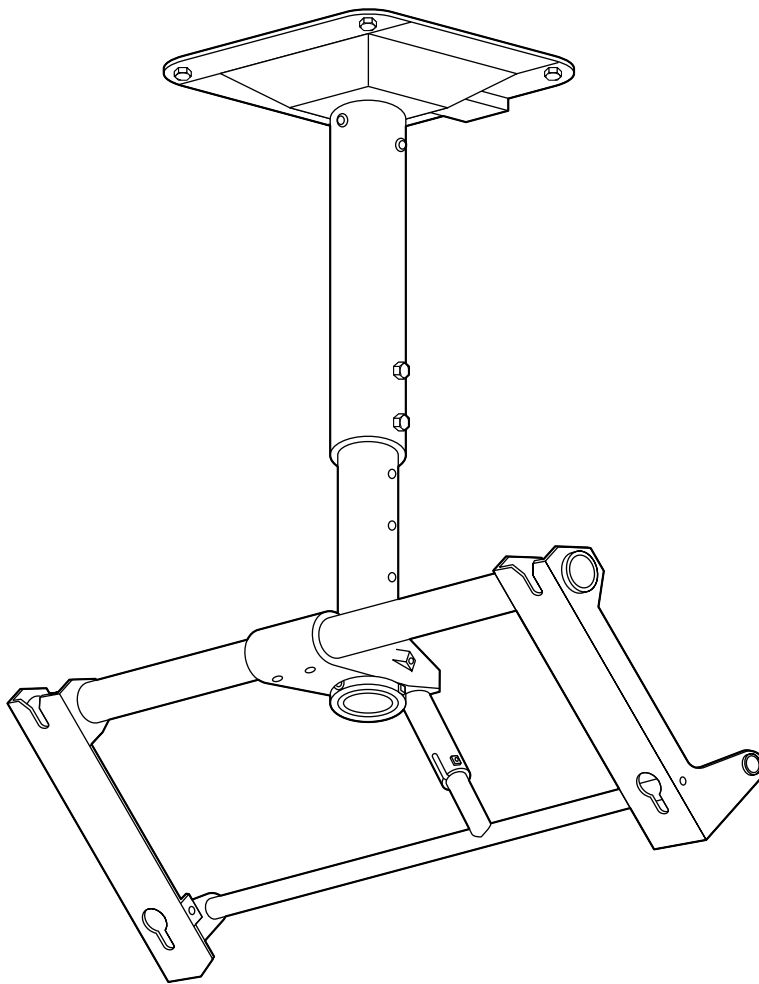
Panasonic

天吊り金具

取り付け工事説明書

品番 TY-CE42PS1

このたびはパナソニックワイドプラズマテレビ/ディスプレイ用天吊り金具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- 取り付け工事前に、この説明書とワイドプラズマテレビ/ディスプレイの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しい取り付け工事を行ってください。
- この説明書は、取り付け工事完了後、よくお読みのうえ保存いただくようお客様にお渡しください。
（移設やメンテナンスのときに、必要になる場合があります。）

TQZH250

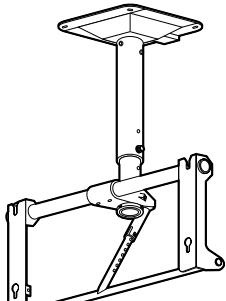
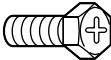
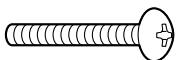
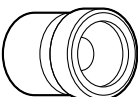
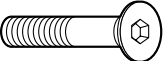
安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
(!)	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

工事専門業者以外は取り付け工事を行わないでください

禁止

工事の不備により、落下して、けがの原因となります。

取り付け強度上の安全係数を配慮してください

強度が不足すると落下してけがの原因となります。

荷重に耐えられない場所に取り付けないでください

禁止

取り付け部の強度が弱いと落下してけがの原因となります。

⚠注意

湿気やほこりの多い所、油煙や湯気、熱が当たる所に取り付けないでください

禁止

ワイドプラズマテレビに悪影響を与え、火災・感電の原因となることがあります。

あお向けや横倒し、逆さまに取り付けて設置しないでください

禁止

ディスプレイ本体内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

ディスプレイ本体の取り付け、取り外しは2人以上で行ってください

ディスプレイ本体が落下してけがの原因となることがあります。

ディスプレイ本体より 天面・底面・側面・後面は10cm以上の空間を確保してください

ディスプレイ本体には、天面に空気吹き出し孔、底面と後面に吸気孔があり、これらをふさぐと火災の原因となることがあります。

組み立て時、ねじ止めをする箇所は、すべてしっかり止めてください。

不十分な組み立てをすると強度が保てず、落下したり破損してけがの原因となることがあります。

構成部品

天吊り金具本体 ………1コ （M8組立てねじ2本付）	M8ボルト （M8-12）………2本	M8ボルト （M8-20）………2本	固定用ねじ （M5ねじ） ……2本
六角レンチ（付属工具） …………1コ	さら形座金ナット （M8） …………1コ	スプリングワッシャー ……………1コ	固定ボルト （M8-100）……1本
ケーブルクランパー …………2コ	絶縁スペーサー ……………4コ	さら形歯付ワッシャー ……………4コ	六角穴付皿ボルト （M8-45）……4本

取り付け工事上の留意点

■本機はディスプレイ本体を水平な天井面に取り付けてご覧いただくための天吊り金具です。水平な天井以外の場所に取り付けて使用しないでください。

■ワイドプラズマテレビの性能保証やトラブル防止のため、次の場所には取り付けないでください。

- スプリンクラーや感知器のそば
- 振動や衝撃の加わるおそれのある所
- 高圧線や動力源の近く
- 暖房機器の風が当たる所

■取り付け場所の構造や材質に合った工法で取り付け工事を行ってください。

■天井への取り付けねじは、天井の材質（木材、鉄骨、コンクリート等）に合った市販品のM12ボルトをご使用ください。

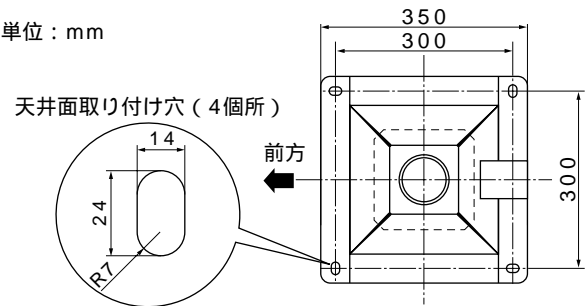
■取り付けねじや壁内部に配線する場合、ケーブルが壁内部の金属部と接触することがないように設置してください。

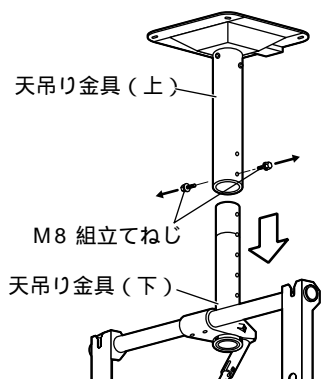
■チューナーユニットにはディスプレイ本体とチューナーユニットを接続する3mの信号ケーブルが付属されていますが、天吊り使用で接続距離が足りない場合は、別売品の15mケーブル〈TY-SCP15CO3〉をご使用ください。

■本体の電源プラグは容易に手が届く位置の電源コンセントをご使用ください。

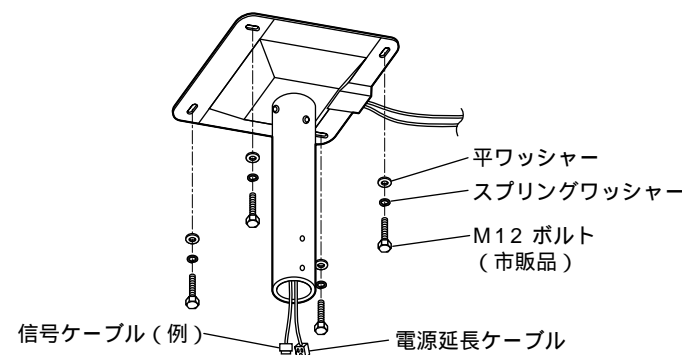
■機器周囲温度が40℃をこえることがないように空気の流通を確保してください。ディスプレイ本体内部に熱がこもり、故障の原因となることがあります。

取り付け工事手順

1.取り付け場所の強度確認

天吊り金具の質量は約19kgですが、天吊り金具に取り付けるディスプレイ本体は約33kg～45kgあります。右図天吊り金具の取り付け部の寸法図を参照のうえ、4個所の取り付け位置の天井強度確認を行い、強度が不足する場合は十分な補強を行ってください。

2.天吊り金具の準備

●天吊り金具からM8組立てねじ2本を取りはずし、天吊り金具（上）と天吊り金具（下）に分割してください。

取りはずしたM8組立てねじは天吊り金具（下）を取り付ける時に再度使用します。

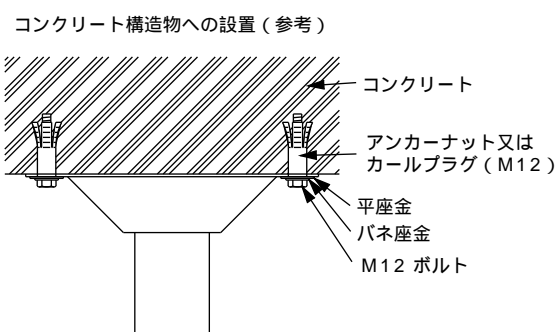
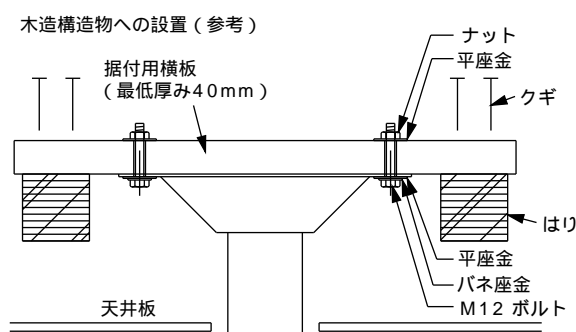
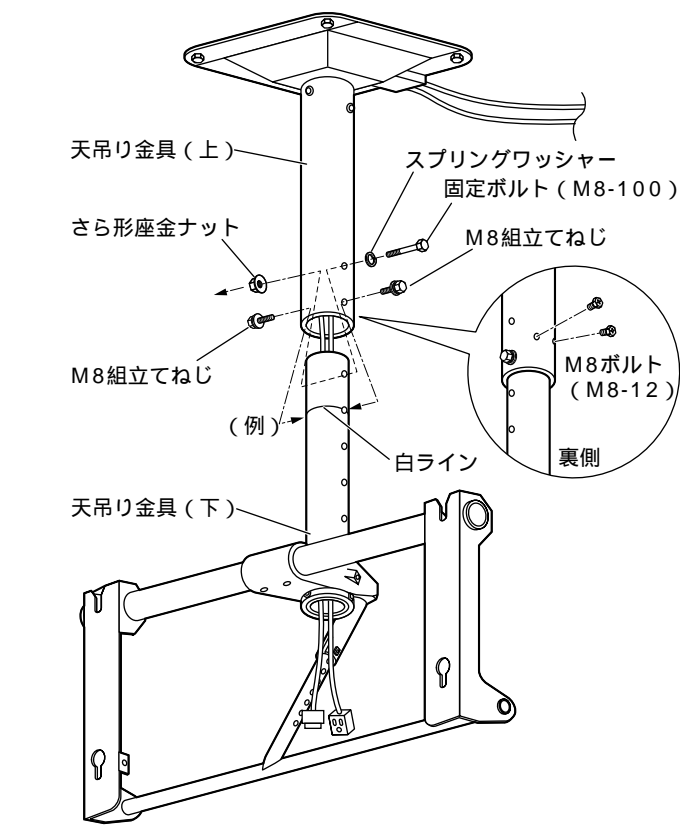
3.天井面への天吊り金具（上）の取り付け

1.天吊り金具（上）を天井に取り付ける前に配線のためのケーブルを、左図のようにパイプ内に通してください。
電源ケーブルは市販のアース付き延長ケーブルを使用してください。

2.天井構造に合った工法でM12mmのボルトが取り付けられるように天井に穴加工を行い、市販の六角ボルト(M12mm)、平ワッシャー、スプリングワッシャーを使用し、天吊り金具(上)を取り付けてください。

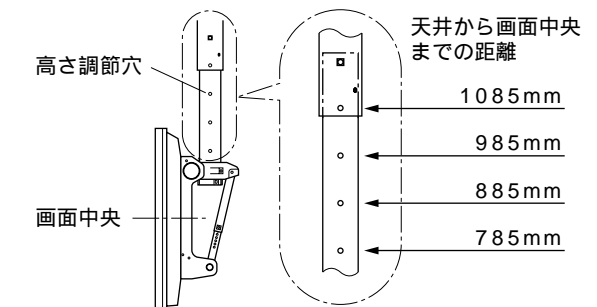
お願い

- 天井の強度が不足する場合は、十分な補強を行ってください。
- 天井面への取り付けねじは、天井の材質に合った市販のねじをご使用ください。
- 木造およびコンクリート構造物への設置については、下記をご参照ください。

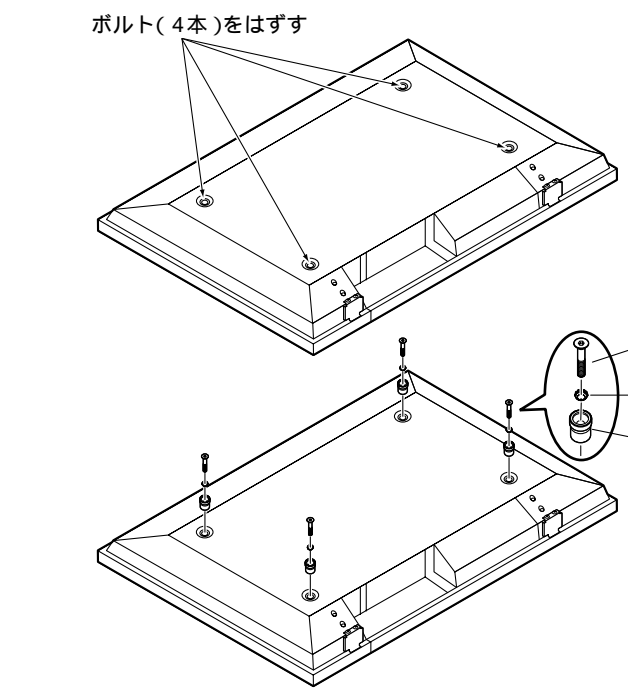
•木造構造物への設置（参考）

•コンクリート構造物への設置（参考）

4.天吊り金具（下）の取り付け

1.天吊り金具（上）に天吊り金具（下）の高さ調節穴を合わせてM8組立てねじ2本で固定します。
2.固定ボルト（M8-100）にスプリングワッシャーを入れ天吊り金具の高さ調節穴に貫通させ、さら形座金ナット（M8）で固定します。
3.M8ボルト（M8-12）2本を使用し、がたつきがないように締め付けます。

お願い

● 高さ調節穴は、4個所以上出さないでください。（白ラインが出た状態にはしないでください）

5.ディスプレイ側の準備

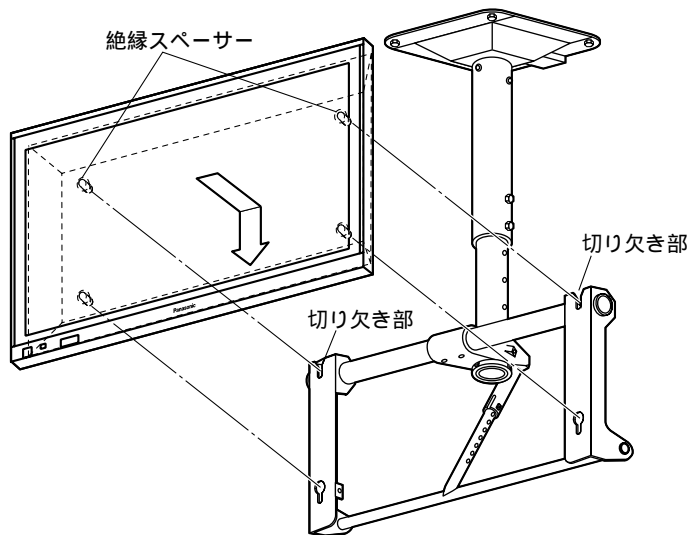
ディスプレイ本体に絶縁スペーサーを取り付ける。

汚れや異物がついていないきれいな毛布等の上に、ディスプレイ本体の前面部を置き、次の手順で行ってください。

1.ディスプレイ本体からボルト４本を取り外してください。

2.ボルト４本を取り付けていた所へ同梱の六角穴付皿ボルト、さら形歯付ワッシャー、絶縁スペーサー（各４個）を使用し、左図のように取り付けてください。

①	六角穴付皿ボルト
②	さら形歯付ワッシャー
③	絶縁スペーサー

取り付け工事手順（つづき）

6.ディスプレイ本体を天吊り金具に取り付け

お願い

● ディスプレイ本体を取り付ける時は天吊り金具の角度を「傾斜なし」の状態にしてください。

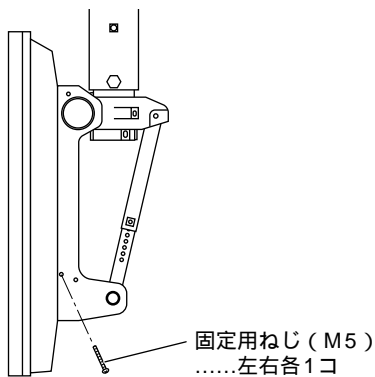
①ディスプレイ本体上側の絶縁スペーサーを天吊り金具本体の上部切り欠き部に押しあてて引っ掛け、そのまま下へ下げます。

②ディスプレイ本体を少し持ち上げながら下側の絶縁スペーサーを天吊り金具本体下穴に差し込み、そのまま下へディスプレイ本体を下げます。

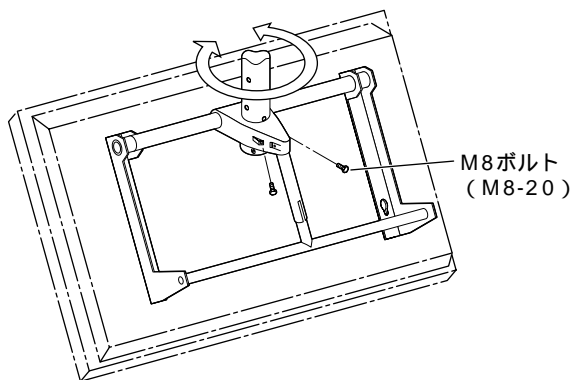
お知らせ

● ディスプレイ本体を持ち上げ過ぎると上側が外れる恐れがあります。

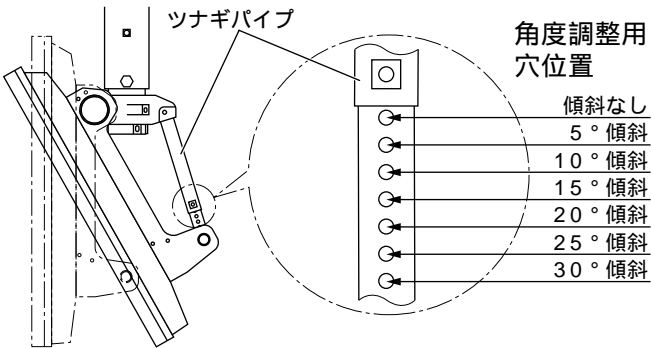
7.ディスプレイ本体の固定

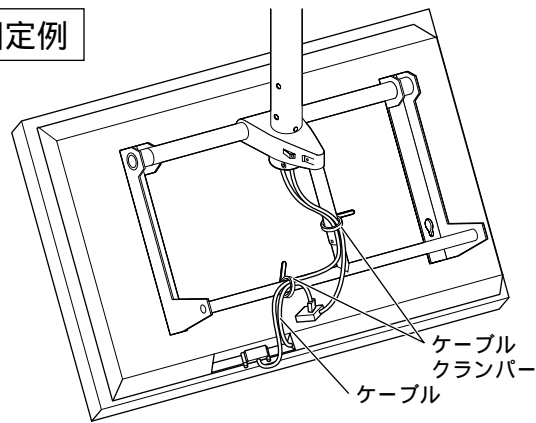
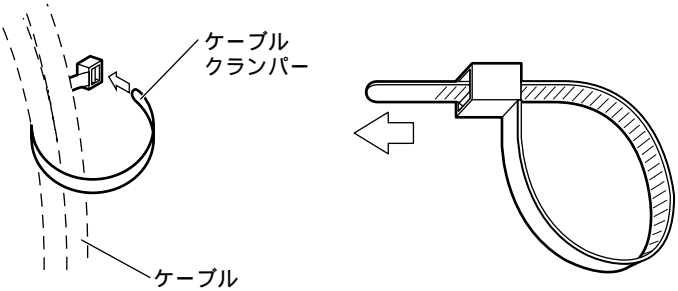
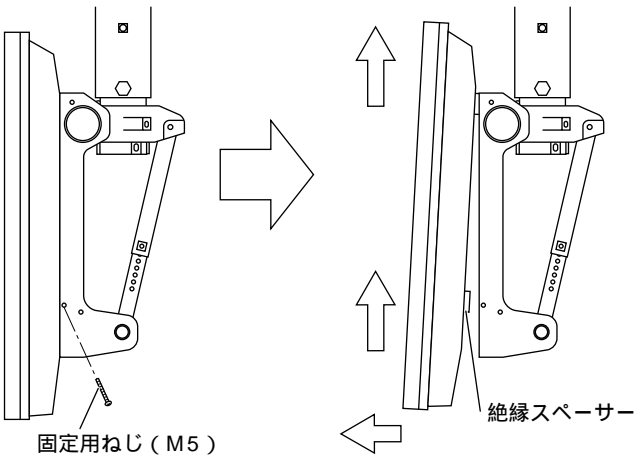
●付属の固定用ねじ（M5）2本を天吊り金具本体側面（左右）の固定用ねじ取り付け部へ取り付けます。

お願い

● ディスプレイ本体の抜け止めのために必ず左右に固定用ねじを取り付けてください。

8.天吊り金具の向き調整

●ディスプレイの向きを調整し、M8ボルト（M8-20）2本を締め付け固定します。

9.天吊り金具の角度調整

この天吊り金具本体は「傾斜なし」から「30°傾斜」まで5°間隔で7段階の角度調整ができます。
工場出荷時は「傾斜なし」になっていますので角度を変える場合は、ツナギパイプから角度調整用ねじを取りはずして角度調整用穴位置を変更し、再度ねじを取り付けてください。

10.配線の処理

固定例

●ディスプレイ本体背面下側の端子に接続されたケーブルを束ねて、ケーブルクランパーで固定します。

ディスプレイ本体の取り外しかた

お願い

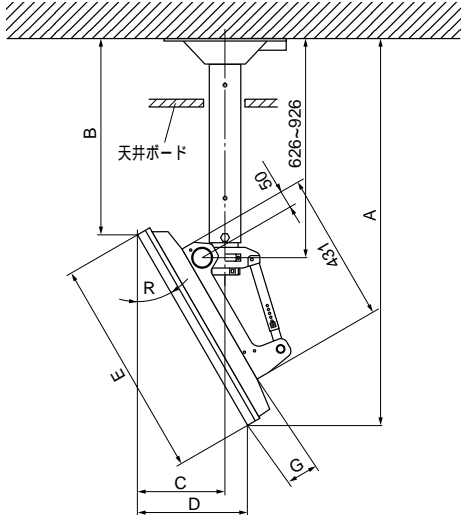
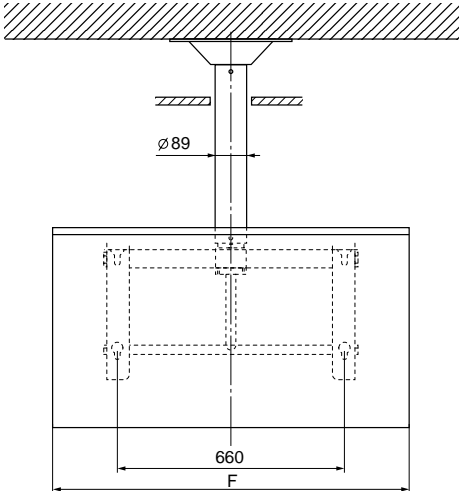
- ディスプレイ本体を取りはずす時は天吊り金具の角度を「傾斜なし」の状態にしてください。

1.天吊り金具側面（左右）に取付けられている固定用ねじ（M5）2本を取りはずします。

2.①ディスプレイ本体の下部を持ち上げながら
②手前に引き、下側の絶縁スペーサーを抜いて
③そのまま上に持ち上げます。

天吊り金具取り付け例

寸法図

単位：mm

■42型の場合

※TH-42PM3/PWD3

角　度	R	0°				15°				30°			
寸　法	A	1079.4	1179.4	1279.4	1379.4	1096.8	1196.8	1296.8	1396.8	1082.1	1182.1	1282.1	1382.1
	B	473.6	573.6	673.6	773.6	511.6	611.6	711.6	811.6	557.4	657.4	757.4	857.4
	C	194				229				252.9			
	D	0				156.8				302.9			
	E	610											
	F	1020											
	G	89											

※TH-42PM2/PM20/PD2

角　度	R	0°				15°				30°			
寸　法	A	1100	1200	1300	1400	1117	1217	1317	1417	1100	1200	1300	1400
	B	466	566	666	766	505	605	705	805	551	651	751	851
	C	194				231				256			
	D	0				164				317			
	E	633.5											
	F	1030											
	G	89											

■37型の場合

角　度	R	0°				15°				30°			
寸　法	A	1070	1170	1270	1370	1088	1188	1288	1388	1074	1174	1274	1374
	B	496	596	696	796	534	634	734	834	577	677	777	877
	C	194				123				241			
	D	0				148				287			
	E	573.5											
	F	930											
	G	89											

■50型の場合

角　度	R	0°				15°				30°			
寸　法	A	1138.5	1238.5	1338.5	1438.5	1153.7	1253.7	1353.7	1453.7	1153.3	1253.3	1353.3	1453.3
	B	414.5	514.5	614.5	714.5	458.8	558.8	658.8	758.8	512.2	612.2	712.2	812.2
	C	202				251.4				288.3			
	D	0				186.2				359.7			
	E	724											
	F	1210											
	G	98											

松下電器産業株式会社　テレビネットワークシステム事業部

〒567-0026　大阪府茨木市松下町1番1号　☎（0726）22-8181

MS0600Y1